

経営比較分析表（令和2年度決算）

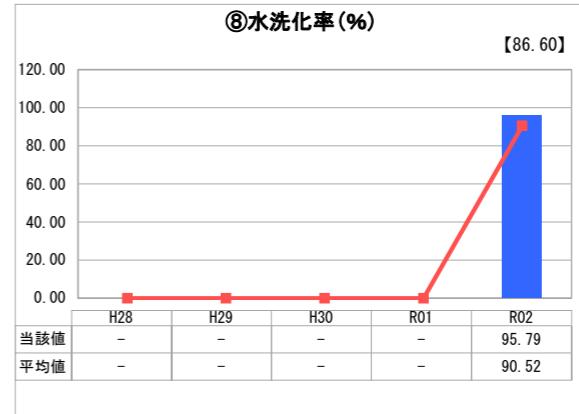
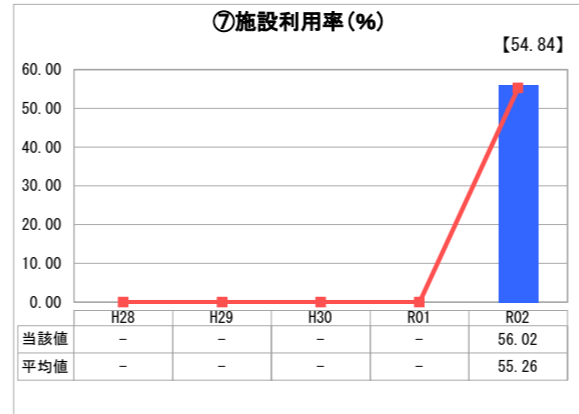
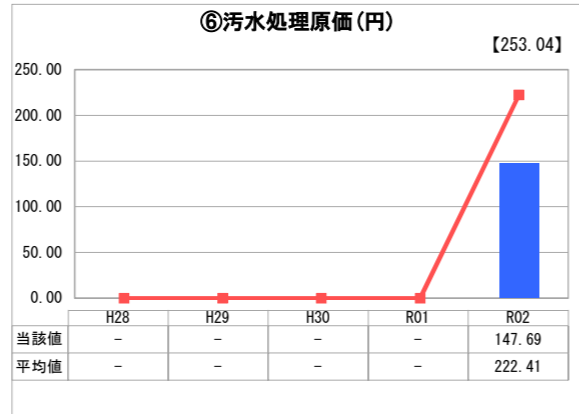
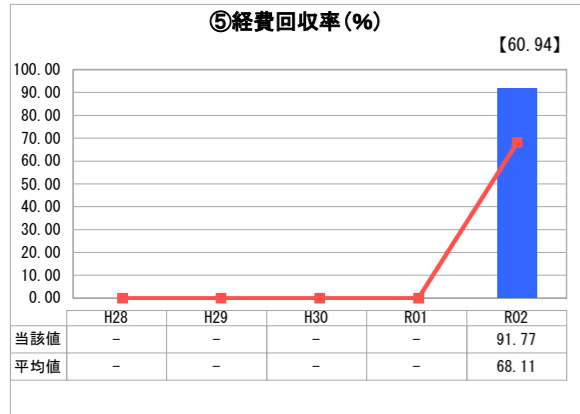
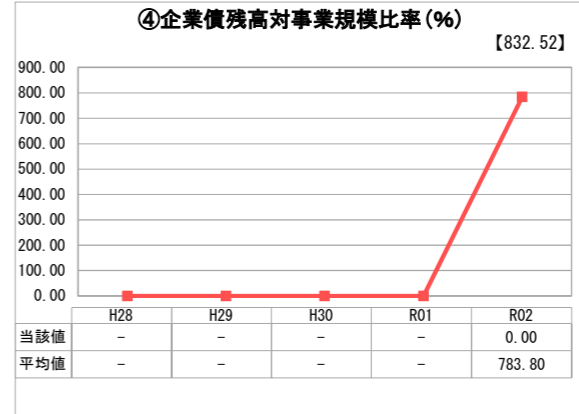
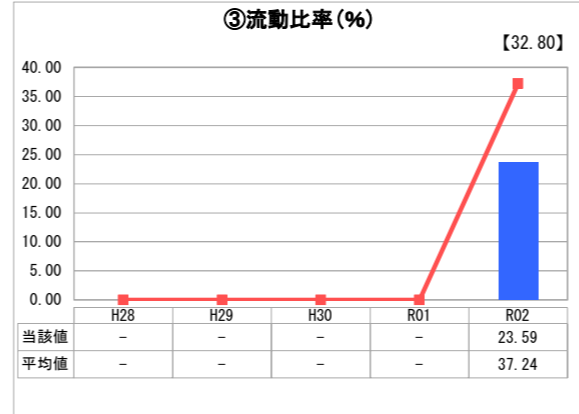
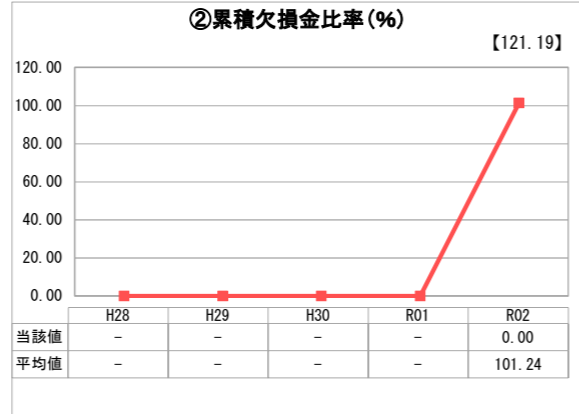
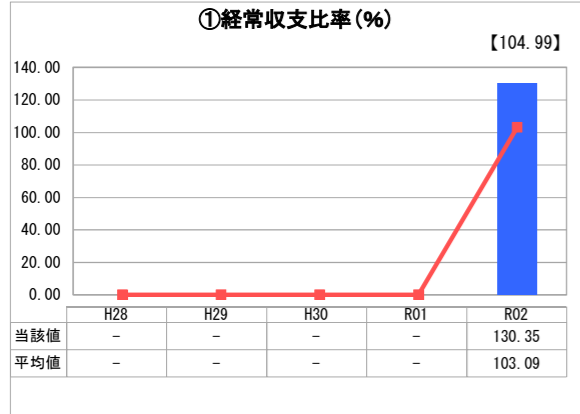
兵庫県 たつの市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	46.11	7.11	95.96	2,420

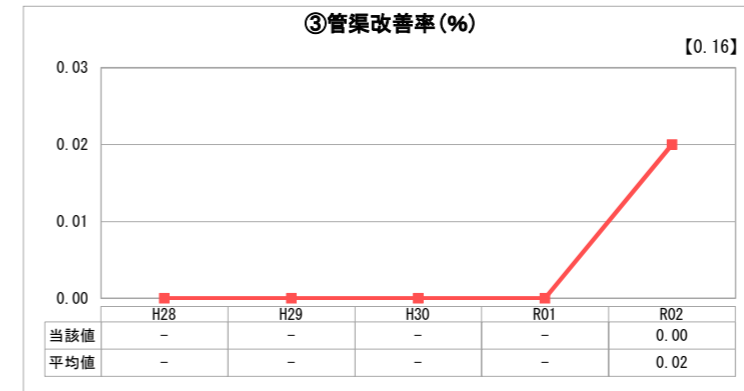
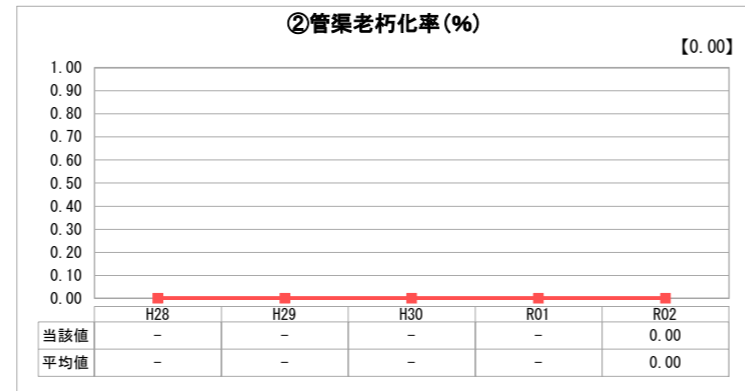
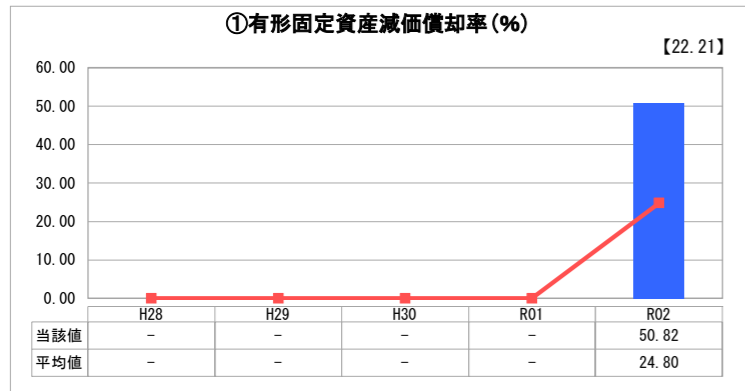
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
75,554	210.87	358.30
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,345	5.70	937.72

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率及び経費回収率については、類似団体平均値及び全国平均値よりも数値が高いものの、経費回収率は100%未満である。
また、汚水処理原価の数値が類似団体平均値を下回っているものの、持続可能な事業運営のためには、より効率的な処理場運営が求められる。
さらに、流動比率が類似団体平均値を大きく下回り、債務に対する支払い能力が低いことから一層の経営改善が必要である。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却が進み、法定耐用年数に近い資産が多く将来の施設の改築・更新が必要である一方で、管渠改善率を実施されておらず、改築等の財源確保や必要に応じた経営改善の実施により、今後の投資を見据える必要がある。

全体総括

経費回収率が低いことから、一般会計からの繰入金依存からの脱却が本市の経営課題と言える。
類似団体平均値や全国平均値を上回る項目はあるものの、現状以上の運営を目指すためにさらなる経営健全化に向けた取組みが必要である。
今後は、各農業集落排水処理場の更新時期が一時期に集中して到来することから、最適化計画に基づき、順次施設の更新を実施する一方、点在する処理施設の統廃合や近接する特定環境保全公共下水道への接続等を視野に入れながら効率的な運営に努める必要がある。
本分析を踏まえ、人口減少等による使用料の減少を鑑み、計画的な使用料改定による財源を確保し、早期の経営健全化を目指していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。